

飯島賢二の『恐縮ですが・・・一言コラム』

第 233 回 2007 年は「偽」の年～そして、何も信じられなくなった??

2007. 12. 23

財団法人日本漢字能力検定協会は、漢字の奥深い意義を伝授する活動の一環として、毎年年末に全国公募による一年の世相漢字を決定している。本年も、2007 年を表す世相漢字「今年の漢字」を全国公募した結果 90,816 通の応募があり、「偽」が 16,550 票 (18.22%) と圧倒的多数で 1 位になった。

応募者の「偽」を選んだ理由は、大きく以下 4 つの理由に分類できる。

1. 相次ぐ食品偽装問題

食肉や野菜の産地偽装、加工食品の原材料偽造、大手菓子メーカーやファーストフード店の賞味期限改ざんなど身近な食品に次々と偽りが発覚したことが、大きな理由に挙げられている。

2. 政界に多くの偽り

年金記録に偽りが見つかって不安になったことをはじめ、政治活動費の偽りや、官庁の裏金工作が発覚。米艦への給油量問題やゴルフ接待疑惑にも国民への「偽り」を感じたという意見も多数見受けられた。

3. 老舗にも偽装が発覚

歴史と伝統を誇る老舗の土産品、名門の老舗料亭にも賞味期限改ざんや仕入れ品などに偽りが発覚。「ああ、お前もか」とため息が出たという意見も目立った。

4. 他にも多くの業界に「偽装」が目立った年

耐震偽装問題、人材派遣会社の偽装請負事件、英会話学校の偽装など多くの業界に偽りが見つかったほか、相撲やボクシングなどスポーツ選手にも偽りが発覚。中国には有名キャラクター模倣の「偽」遊園地が堂々開園していたことも、理由に挙げられた。

同協会は、このような今年の世相を「偽」の一文字に託して、日本を代表する寺「清水寺」の森清範貫主に大きく揮毫していただき、清水寺「奥の院」のご本尊・千手観音菩薩に奉納する儀式を行っている。～以上、(財)日本漢字能力検定協会のホームページより (<http://www.kanken.or.jp/kanji/kanji2007/kanji.html>)

2007 年もあとわずかで過ぎ去ろうとしている。今年は皆さんにとって、どんな一年だっただろうか？ 一年一年、もうこれ以上若くはならない～当たり前の事だが、この歳になると貴重な一年を如何に過ごしたか、人生劇の終演をドラマチックに演じるために、丹念に振り返りながら見つめ直す、そんな歳末の日々を送っている。せめて自分だけは、更に私の同胞たる仲間の周辺に、「偽り」のない、堂々たる人生を送って欲しい…と願いつつ、来年に向けての新たなチャレンジを^{もくろ}目論む大事な時でもある。

もう、これ以上若くならないこの瞬間を、^{いつときいつとき}一時一時を大切にし、意義ある生き方を実践したい。来年こそはその証を^{あかし}示さねば…、そんな得体の知れぬエネルギーが、^{からだじゅう}身体中を熱くしてくる。2008 年が、皆様にとって幸多かれと祈念しつつ、静かにペンを置く。